

2024

新入生に

すすめる

本



先生・先輩方による読書のススメ

# 新入生のみなさん

# ご入学おめでとうございます

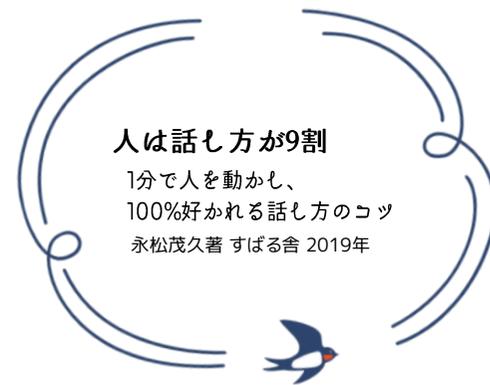
本学では「医療に携わる人として深い教養と知性を身につけるため、本に親しんでほしい」という願いから、毎年、新入生へ、教員と在学生によるブックガイドを配布しています。ここで紹介されているのは、新入生の皆さんに向けて、先生方や在学生が「ぜひ読んでほしい!」と選んだ一押しの本です。ジャンルも、看護に関するものから人生について考えるもの、小説と幅広く、みなさんの好奇心を刺激するような本が出揃いました。掲載している本は図書館に所蔵していますので、実際に手に取ってみることができます。大学での学び始めに、ぜひご覧ください。

※気になる本の表紙をクリックすると、電子BOOKで閲覧したり、紙の図書がOPACで図書館のどこにあるか確認したりすることができます。

図書館長/リプロダクティブヘルス看護学・助産領域  
永松 美雪 教授 のおすすめ



Bienvenue



人は話し方が9割

1分で人を動かし、  
100%好かれる話し方のコツ  
永松茂久著 すばる舎 2019年

私は、学生さん、先生方、家族と話す中で、相手を不快にさせてしまったかもしれないと感じ、もっと良い話し方はできなかったのかと考えることがあります。この本は、人は「話し方」を変えるだけで、人生の9割が変わることを伝えています。この本を読んでみると、自分がいかに話すより、いかに相手の話を聞くかが大事で、その話し方のコツを知っていると、身近な人たちとの人間関係を円滑にすることができるのがわかります。うまく話せない人も簡単に話せるようになる話し方のコツなど、人間関係を良くするヒントがわかりやすく書いています。実際に、日常生活の様々な場面で、どのように活用してうまく話したら良いかがわかります。

ドラマ化もされた産婦人科を舞台とした医療ミステリー小説です。深夜に容態が急変した妊婦の緊急帝王切開手術が行われ子どもは無事に生まれたものの数日後、原因不明の出血により母親が死亡します。患者を救えなかったことでショックを受ける医師に、さらに遺族が起こした訴訟が追い討ちをかけます。緊急手術、医療事故、裁判、そして苛酷な勤務…実際の産婦人科医が、医療の危機の実態を描くリアリティ溢れる作品です。患者のために出来る限りのことをした医療者、患者を亡くした遺族の無念、双方解決の一つの道としてノーフォールト(無過失)の意味も明らかになってきます。



ノーフォールト  
岡井崇著 早川書房 2007年



僕はもう憑かれたよ  
七尾与史著 宝島社 2017年

今回私が『僕はもう憑かれたよ』の中でお勧めするポイントは、さまざまな感情が入り混じることで、より複雑で、読んでいてとても話の中に引き込まれることです。事故で恋人を失った悲しみや相手への不信感など、読んでいてこのあとどうなるんだろうと読み進めたいくなる要素が詰まっています。ミステリー過ぎないため、ずっと読めると思います。“憑”かれたよである意味とは一体なんなのか、なぜ“疲”れたよではだめだったのか気になりませんか？勉強の合間にぜひ読んでこの本の世界に浸ってみてください。



リップダクティブヘルス看護学領域  
内田文月 助教 のおすすめ



2年生  
内堀茜 さん のおすすめ



2年生  
大川原 萌 さん のおすすめ



4年生  
小川 舞桜 さん のおすすめ

私が紹介する本は『方舟』です。主人公は友人と従兄、見知らぬ家族が山奥の地下建築に閉じ込められるところから始まります。水没していく地下建設から脱出するためには、誰か1人を犠牲にしないといけない。そんな状況で次々発生する連続殺人。「だれを生贖にすべきか」、「なぜ殺人がおきなければならなかった」と倫理観に訴えられ、正しさとは何かを考えさせられるミステリー本です。この本を読み進めていくと、登場人物が感じている迫り来る恐怖や罪悪感に、胸が締め付けられるような感覚になります。また本の中の様々な不可解な点や伏線が最後一つの線としてつながった時意表をつかれます。ミステリーが好きな人もそうでない人もドキドキ、ハラハラできる本となっているので、ぜひ読んでみてください。



方舟  
夕木春央著 講談社 2022年



ラーメンwalker  
角川アスキー総合研究所 2023年

みなさん、ラーメンはお好きですか？私は、高校時代に友達とラーメンを食べに行った際、自分の口に合わず…。日本のラーメンは海外の方からも1つの文化として愛されているし、北海道は日本の中でもラーメンは有名なはずなのに…こんなんでもいいのか?!と。ならば自分にあったラーメンを探そうと思ったのが、ラーメンソムリエになったきっかけでした。ラーメンは、日本の中でも様々な種類に分かれます。私の地元の北海道では、札幌味噌が有名ですが、福岡では博多豚骨が有名ですよ。このラーメンwalkerでは、その地方のラーメンの魅力を知ることができ、かつラーメンを食べずにはいられなくなるような一冊です。ぜひ、ラーメンの世界に沼りましょう！

著者はアメリカのカーネギーメロン大学の教授(コンピューター科学)です。肝臓がんで余病宣告された著者が父として、夫として、大学の教員として、一人の人間として、人生をどう生きるのか(生きてきたのか)、特に子どもたちや学生に夢をどう実現していくかについて語られています。

私は英語版を読みましたが、タイトルも文章も非常にわかりやすく、辞書なしでも読めます。しかもタイトルごとの文章が簡潔で、英語でも心にささるものがあります。今の私が繰り返し読むのは、48「Tell the truth」52「Know Where You Are」53「Never Give Up」55「All You Have to Do Is Ask」です。きっと来年は変わっていると思います。

この先生をネットで検索してから読むのもありかと思えます。

本書の日本語版は『最後の授業 僕の命があるうちに』です。

### The last Lecture NOIMAGE

赤十字・国際看護学・  
災害看護学領域  
小川 里美 教授  
のおすすめ



### The last lecture

Randy Pausch with  
Jeffrey Zaslow著  
Hachette Books(Hyperion) 2008年



### ごっこ

紗倉まな 講談社 2023年



3年生  
梶本 知沙 さん  
のおすすめ

この本は「作者買い」です。作者の紗倉まなさんはアダルトコンテンツの俳優を兼業していて、その宣伝が目にとまったことがきっかけでした。

読む前は、作者が注目を浴びていることから、物語で起こる出来事がセンセーショナルで注目されているのかと考えていました。しかし、収録された三つの短編は「誰かの日常の延長」という印象が濃く映ります。登場人物と全く立場が違って、読むうちに「この気持ち知ってる!」と膝を打つほど描写が丁寧です。表題作「ごっこ」のドライブで見る雨、距離の近い相手と接しながらも短所を探してしまう「見知らぬ人」、気になって仕方ない相手に視線が向く情景が鮮やかな「はこのなか」、ぜひご一読ください!



### こわいもの知らずの 病理学講義

仲野徹著 晶文社 2017年

この本は、「ムムム」と顔をしかめてしまいそうなタイトルですが、実は一般向けに作られた本なのです。

内容は悪性腫瘍(がん)の話が多いのですが、体の中でどのようなことが起きているのか、分かりやすく丁寧に書いてあります。

1年生の後期に病態生理学を学びますが、その知識を補完し臨床に活かすことができる内容もたくさんあります。

看護を実践する上では病気の知識を細胞レベルで理解することがとても重要です。興味のある方はぜひ読んでみてください!

基礎・専門基礎領域  
木村 涼平 講師  
のおすすめ





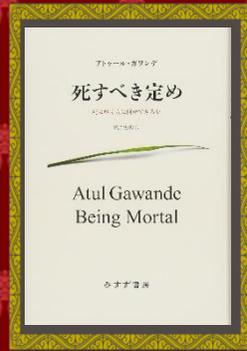
### 獣の奏者

上橋菜穂子著 講談社 2009年

この物語は、主人公のエリンという少女が国の根幹に関わる神聖な生き物と心を通わせてしまったことで、国家を巡る様々な陰謀に巻き込まれていくというファンタジー小説です。

この作品のおすすめポイントは2つあります。1つ目は、繊細に作り上げられた世界観です。登場人物のみならず、植物までもが丁寧に描かれており、この物語の世界に生きている全てのものに本当に命が吹き込まれているかのように感じられるのが魅力の一つです。2つ目は、主人公エリンのまっすぐに生きることに向き合う姿勢です。様々な困難に直面しながらも自分を信じて生きていく姿は読んでいて心打たれます。

ここだけでは魅力は語れないので是非一度読んでみてください。



### 死すべき定め

死にゆく人に何ができるか  
アトゥール・ガワンデ [著]; 原井宏明訳  
みすず書房 2016年

医療は生のみならず死をも支えることが使命とされている。しかし、医療の現場ではややもすると生をいかに維持するかに重きがおかれる。本書は、米国の外科医で世界的ライターでもある著者が、医学の能力は有限である事実を見つめた時に生じる害を直視し、「人が幸福でいられるようにすること」が医療者の仕事であることを自身の経験を軸に説いている。

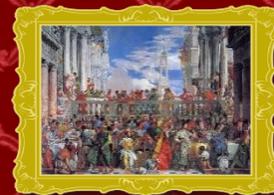
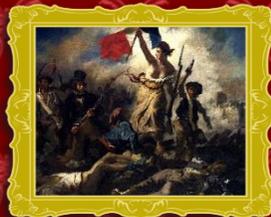
私たちの人生は喜びと苦難が折り重なって続く。自身の人生の指南書として読むこともできる。



前学長  
小松 浩子 教授  
のおすすめ



4年生  
草野 真帆 さん  
のおすすめ



精神保健看護学領域  
高瀬 理恵子 助教  
のおすすめ



成人看護学 急性期領域  
櫻本 秀明 教授  
のおすすめ



大学生にどんな本を紹介しようかと、本棚の本を見返していると、葉として挟んだのか、病院のベッドネームがページの間に挟まれていた。2番目の子供の出産時のものだった。4月2日14時48分1985g。子供が生まれるとき、私はこの哲学の解説書を通じて、他者と自分とのあり方を見つめていたようだ。

大学生の君たちは、その若い瞳で何を見つめ、感じ、そして考え行動するのだろう。文字から得られる情報や知識には、動画のようなスピード感や手軽さはない。不自由ですらある。しかし、不自由だからこそ、読み手の想像力は鍛えられ、そして豊かになっていく。ときには哲学にふれ、不自由さを享受してみるのはいかがだろうか。



他者と死者  
ラカンによるレヴィナス  
内田樹著 文春文庫 2011年

この本は、50歳でレビー小体型認知症と診断された樋口さんと専門医がその症状や治療、日常生活の工夫などについて語りつくした、その対談からなっています。樋口さんは、医療者がこれまで想像するしかなかった認知の変動や幻視が見えるといった当事者の世界や、さまざまな症状への対処を豊富な語彙力で言語化しており、読者はその言語化する力もさることながら、その思考力や知識の豊富さ、対処能力に驚き、認知症に対するイメージが変わると思います。どんな疾患も当事者しかわからないことがあるということ、診断名や症状にとらわれすぎず、当事者の声に真摯に耳を傾けることの大切さをこの本は教えてくれます。ぜひ手に取ってみてください。



レビー小体型認知症とは何か  
患者と医師が語りつくしてわかったこと  
樋口直美、内門大丈夫著  
筑摩書房 2013年

新入生の皆さん、大学入学おめでとうございます。この本は世界中で使われている認知症の診断スケールを開発した医師の話です。医師として認知症の患者をたくさん診断し、治療した医師が自らも認知症になりました。「認知症になったからといって突然、人が変わるわけではありません。昨日まで生きてきた続きの自分がそこにいます。」(P66)認知症になったご自分の生活をユーモアと悲観を交えて読みやすく書かれており、看護職の私たちにもとても視野の広がる本です。そもそも、世界中で使われている診断スケールを開発した人自身の話はなかなか聞くことはできないと思うので、ぜひおすすめです。

「笑う」ことにはさまざまな良い効果があります。「笑い」には、その人との関係をぐっと縮めてくれる効果があり、笑いひとつで、心と心があたたかく触れ合うといわれています。新入生の多くは初対面だと思いますが、初対面だと緊張してなかなか周囲の学生や教職員に話しかけづらいかもしれません。そんな時の会話は軽い笑い話から始めてみましょう。これからの学生生活における様々なことに「笑い」をうまく活用すれば、笑いが人間関係の潤滑油となって乗り越えていくことができます。この本には笑いの活用法がたくさん記載されているので、ぜひ読んでみてください。

他人と比べられない「感覚」。誰かと共有することもできない「感覚」。自分だけの「感覚」。だからこそ、性や文化の多様性など様々な多様性がうたわれている中で、人によって感じ方が違う「感覚」の多様性も大切にしていきたい。

この本では、発達障害の特性でもある「感覚過敏」を現役高校生の筆者が実体験を交えて伝えたいことについて描かれています。

この本で、自分では感じたことのない「感覚」というものに触れ、実習中に会った患者さんとのかかわりの中で、患者さんの「感覚、感じ方」について考え看護ができたことで、患者さんとの信頼関係の構築にもつながりました。看護職を目指す学生として、幅広い視点から人を捉えることができる本です。



ボクはやっと  
認知症  
のことがわかった

自らも  
認知症に  
なった  
専門医が、  
日本人に  
伝えたい  
遺言

長谷川和夫、猪熊律子著  
KADOKAWA 2019年

ボクはやっと  
認知症のことがわかった

自らも認知症になった専門医が、  
日本人に伝えたい遺言  
長谷川和夫、猪熊律子著  
KADOKAWA 2019年



老年看護学領域  
高比来 ひとみ 助教  
のおすすめ

笑って  
生きれば  
すべてうまくいく



ぶんか社

笑って生きれば  
すべてうまくいく

齋藤茂太著  
ぶんか社 2009年



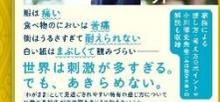
地域・在宅看護学領域  
西村 和美 准教授  
のおすすめ

2023年  
学内ビブリオバトル  
チャンプ本  
全国大学ビブリオバトル  
九州Aブロック  
準チャンプ本



4年  
藤田 ほの香さん  
のおすすめ

感覚過敏の  
僕が感じる世界



加藤路瑛著  
日本実業出版社 2022年

感覚過敏の  
僕が感じる世界

加藤路瑛著  
日本実業出版社 2022年

## 患者の声から考える看護

渡邊順子著  
医学書院 2020年



看護教育学領域  
本田多美枝教授  
のおすすめ

この本は、「こんな看護をしたい!」という看護師の思い込みではなく、「こんな看護が欲しい!」という患者さんの声に耳を傾け、ホントの看護を問うことを願って書かれた本です。難しい専門書ではなく、患者さんと看護師の見方にずれが生じる場面をユーモアたっぷりの漫画で描かれ、双方の見方(心の声)が示されます。そして、そのずれを埋めるべく、ナースレンジャーが登場し、悩める看護師にホントの看護に導くヒントを与えていきます。

これから看護学を学び、それぞれが理想の看護師像を描いていくことになると思います。その一助として、本書を手にとってみませんか。患者さんの声なき声に耳を傾けられる看護師について考える機会になると思います。

## 異邦人

カミュ著；窪田啓作訳  
新潮文庫 1995年



図書館司書  
松尾友香さん  
のおすすめ

『異邦人』はカミュの代表作の一つであり、総ページが約150ページと小説を普段からあまり読まない人でも気軽に読破することができます。この小説は「この世の不条理」を題材にしており、主人公の淡白な対人関係と、それに反する多彩な感受表現を用いて、落ち着いたリズムで描かれています。どこまで読み進めてもただの日常ですが、最後にはその当たり前の日常を噛み締めることができる。短くも独特の世界観に惹き込まれる珠玉の作品です。ぜひ読んでみてください。

## 金メダル男

内村光良著  
中央公論新社 2016年



総務課職員  
宮田美香さん  
のおすすめ

「自分探しに途方がくれた瞬間」を味わったことはありますか? 「自分」の存在意義は、他人に認められてこそのものだと思いますか?

主人公の秋田泉一は、運動会のかけっこで「一等賞」を獲ったことがきっかけで、周囲の人々から称賛を浴び、一目おかれる存在となります。しかし、成長を重ねていき、自分は「凡人」なんだ、と思い知らされます。「凡人」である自分に存在意義を見出せず、かつての輝かしい自分を取り戻すべく、「金メダル(一等賞)」を目指して色々なことにチャレンジ(自分探し)をしていきます。

輝いていない自分を「自分らしくない」と落胆する日々。「自分らしさ」とは、誰が決めるものでしょうか? 主人公の秋田泉一の生き方を通して一緒に自分探しができる一冊となっています。是非、読んでみてください。

## 図解・地下鉄の科学

トンネル構造から車両のしくみまで  
川辺謙一著  
講談社 2011年



4年  
柳澤旭徳さん  
のおすすめ

【祝!七隈線延伸開業!今こそ見ておきたい地下鉄から見える技術】

ついこの間福岡市地下鉄七隈線の天神南=博多間の延伸区間が開業しました。

地下鉄に乗っている間はおそらく景色が見えないので音楽を聴く、動画を見る、本を読むなど窓の外を見ないことが多いかと思います。

ですが、窓の外には私たちの想像が追いつかないほど素晴らしい技術が多く詰め込まれた光景が見られます。それらの技術を解説している書籍がこの【図解・地下鉄の科学】です。

いつもは「ただのコンクリート」だと思っていた地下鉄の窓の外が、面白く感じられると思いますので、ぜひ日常の「味変」みたいな感じで読んでみてください。



この作品は、辞書を作るという私たちの日常にはない体験を行える本です。この本を読む前は、辞書なんていくらあってもどれも同じだと私は考えていました。しかし、この本では1冊の辞書を作り上げるのに何年も費やします。どれほどの熱量で、どのような想いを持って取り組んでいるかが分かります。この本はまさに、本の醍醐味を感じられる作品であると思います。看護学生も実際に入れば分からないことだらけで、結局経験しないと何も言えません。人生で多くの職業を体験することは難しいですが、看護だけにとられず様々な分野の働きについて本を通して体験してみるのはいかがでしょうか。



この本は、瀬戸内の海に浮かぶレモン島にある「ライオンの家」というホスピスが舞台です。ホスピスでは、利用者が人生最後にもう一度食べたい「おやつ」をリクエストできるおやつの時間があります。この本の好きな所は、瀬戸内の空や風などの情景があなたに描かれている所です。がんのステージIVを宣告された主人公の雫(しずく)がおやつの時間を通して、残りの人生を大切なものにしていく姿が悲しくもあなたに気持ちにさせてくれます。人生を終える場所であるホスピスですが、瀬戸内のあたたかい空気や利用者のリクエストするおやつとそのストーリーが、不安や寂しさを包んでくれる作品になっています。



この本は私にとって、本の世界に没入してしまった初めての作品です。この本は丁寧に描写されていて、とても読みやすく、1つ1つの場面が想像しやすいので物語の世界に入り込めます。そのため、本を読むことが苦手な人にもおすすめの本です。この物語は主人公のわたしがむらさきのスカートの女と知り合うために奇行とも言える、あらゆる行動に出てむらさきのスカートの女を知ろうとするお話です。クスリとしながら、ドキッともしる主人公の行動にも注目です。是非読んでみてください。



# ビブリアバトルをやってみよう

今回本を紹介してくれた先輩方は、昨年度の学内ビブリアバトルの発表者です！

ビブリアバトルは、本の紹介コミュニケーションゲームです。

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーに、知らない本や人に出会い、世界が広がる新たな知的ゲームとして、大学や図書館だけでなく小・中学校から地域のコミュニティまで幅広く行われています。宗像市にも市民主催の「宗像ビブリアバトル倶楽部」があり、大人から子供まで楽しめるイベントとして活発に開催されています。毎年、高校生・大学生を対象にした全国大会も開かれており、本学からもこれまでに5名の学生が全国大会に出場しました。

本学では、予選会を兼ねて年2回程度学内ビブリアバトルを開催しており、昨年度は、オンラインでビブリアバトルを開催しました。やり方はとてもシンプル！まず、発表者による本の紹介を聞き、参加者全員で、その中で一番読みたくなった本を選びます。一番多く票を集めた本がチャンプ本です。

「話すことが大好き！」「大好きな本を紹介したい！」というそのアナタ。  
ぜひ参加してみませんか？

「人前で発表は無理・・・！」「本なんか興味ないよ」というアナタ。  
堅苦しいプレゼンテーションではなく、友達や先輩がお気に入りの本を紹介するだけです。知り合いのおすすめなら、ちょっとは興味が出てくるかも・・・？  
まずは、どんなものか見てみませんか？少しでも気になった方は、気軽に図書館までお声掛けください！



# MARUZEN eBOOK LIBRARY

スマホ・PCで読める！  
持ち運べる大学所蔵の  
**eBook**です。

- 横断検索による新たな知識欲の発掘に！
- 今、受けている授業に役立ちます！
- 動画・音声付コンテンツが豊富！

## アクセス方法



図書館HPから  
「Maruzen eBook Library」の  
バナーをクリックして下さい。

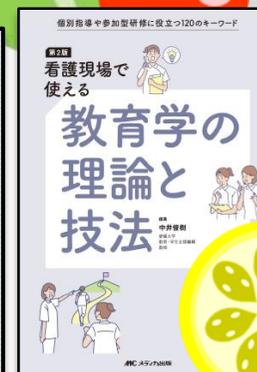
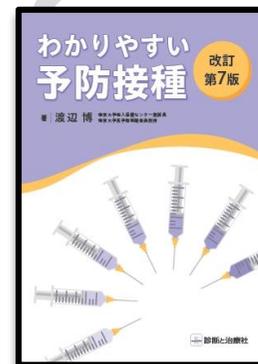
学外（スマホ等）の利用の際は、  
図書館HPのマイライブラリに  
ログインしてアクセスして下さい。

マイライブラリ

ユーザー名:

パスワード:

マイライブラリとは



▲書影をタップして  
閲覧してみよう！

*Publish Date*  
2024年4月4日

*Editor, Publisher*

日本赤十字九州国際看護大学図書館

*Nippon sekijuji kyushu kokusai kango daigaku to-*  
*syokan*

*Japanese Redcross Kyushu International college of Nursing*  
*Library*

*Web URL*

<https://www.jrckicn.ac.jp/library/>

*Special Thanks to*

シルエットデザイン by TopeconHeroes  
イラスト AC

建築パース.com <https://kenchiku-pers.com/>  
WIKIMEDIA COMMONS

フロップデザイン あさご本丸ゴシック

03 スマートフォン UI+

自家製フォント工房 Mgen+(ムゲンプラス)

ウェブでも公開中

<https://www.jrckicn.ac.jp/library/library0503/library0502/>

